



渋谷本町学園だより

★HPアドレス★

<http://shibuya.schoolweb.ne.jp/shg>

令和7年1月9日発行 NO.9

渋谷区立渋谷本町学園

統括校長 清野 正

TEL 3373-3201

学校の役割を考える

統括校長 清野 正

新年あけましておめでとうございます。13日間の冬休みが終わり、学園にお子様の元気な声や姿が戻ってきました。今年も教育活動の充実に向けて教職員一同決意を新たに組み立ててまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【今年はどういう年に】

「変革に挑み次世代に希望つなごう」「不確実さ増す時代に政治を凝視し強い社会築く」「平和と民主主義を立て直す時 協調の理念掲げ日本が先頭に」などを表題に、新聞各社は元日の社説を掲載しました。いずれの新聞の論調も2025年は思いもかけない出来事が起こる、先が見えない不確実な時代にあるという認識の下、日本の強みを再認識し、自信をもって前に進もうというものでした。2025年は巳年、巳年は十二支の中で6番目にあたる年で、占いや東洋の伝統的な思想において、いくつかの特徴や意味合いがあるとされています。

- ①**変化と転換**: 蛇は脱皮をする生き物であることから、巳年は変化や転換の年とされることが多いです。新しいことを始めたり、古いものを手放したりするのに良い年とされています。
- ②**知恵と学び**: 蛇は知恵の象徴とされることもあります。巳年には学びを深めたり、新しいスキルを習得したりするのに良いと考えられています。
- ③**慎重さと洞察**: 蛇は動きがゆっくりで慎重であるため、巳年には慎重な行動や深い洞察力が求められることがあります。急ぎすぎず、よく考えて行動することが大切とされます。
- ④**再生と成長**: 脱皮を繰り返す蛇のイメージから、再生や成長の年とも言われます。過去の経験を活かし、新たなステージに進むと良いとされます。

お子様や保護者の皆様、そして本学園にとりまして、2025年が幸多き良い年になりますことを心から願います。

【学校の本質的な役割の再認識】

こうした不確実な時代に求められる学校の役割は何か。国は学習指導要領改訂に向けた論点整理の中で、次のように学校の役割を改めて分析しています。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の防止のための臨時休業や様々な接触防止の対策等を経る中、学力の保障のみならず、全人的な発達・成長を保障するという役割、他者と安全・安心につながるができる居場所・セーフティネットとしての福祉的役割など、学校が持つ様々な役割が改めて実感を持って理解された。
- ・学校は、学年・学級という生活を共にする集団の中で、多様な他者に出会い、共感や軋轢の中で自己を知り、高めるとともに、他者とどのように共存するかという、社会を形成していく上で不可欠な人間同士のリアルな関係づくりを子供たち相互の関係で学ぶ貴重な場となっている。
- ・このような多様な背景を持つ児童生徒が学ぶ場所としての学校の役割は、包摂的で、他者への信頼に基づく民主的・公正な社会を実現していく基盤として一層重要となっており、社会の分断や格差を防ぎ、持続可能な社会の創り手を育てる観点からも更なる充実が必要。この点について考える際、教育基本法、学校教育法等の教育関係法規に加え、令和5年度から施行されているこども基本法の趣旨・内容も踏まえることが重要。

ICTの進展・生成AIの加速度的な発展、人口減少・少子高齢化、グローバルな協働など社会が非連続的に変化しています。こうした社会において学校が果たすべき役割、お子様に求められる資質・能力は何か。シブヤ未来科や各教科における探究学習の充実、ICTの有効活用、異学年交流や協働学習といった小中一貫教育の拡充など、これまで重点的に取り組んできた教育活動が、残り3か月弱で今年度分はひとまず完了となります。2月8日の土曜授業では探究学習の発表会を、3月8日には学習発表会を、そして3月19日と25日には小・中の卒業式を迎えます。お子様の1年間の学習の成果を目に見える形で表現できるよう、指導の継続・充実を図ってまいります。今年度も残り3か月、ご支援・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

今後の行事予定

() : 学年 B : B時程

月	火	水	木	金	土/日
	1月7日 冬季休業日終	1月8日 B 全校朝礼 狂言教室(5・6)	1月9日	1月10日 B 委員会・代表委員会	1月11日 /1月12日
1月13日 成人の日	1月14日 中央委員会 オープンスクール(1) シブヤスカイ見学(6)	1月15日 B つばめの里訪問(1)	1月16日 オープンスクール(1)	1月17日 B 英語検定	1月18日 /1月19日 しゅやニュー駅伝
1月20日 ブロック朝礼 避難訓練	1月21日 つばめの里訪問(1)	1月22日 B	1月23日 ムサビプロジェクト(6) オープンスクール(1)	1月24日 B ムサビプロジェクト(4) クラブ活動 (3年生見学)	1月25日 /1月26日 都立推薦入試
1月27日 都立推薦入試	1月28日 特 4時間授業(7-9・F)	1月29日 B 4時間授業(1-9) GTEC(8)	1月30日 新入生保護者会 4時間授業(1・2)	1月31日 B クラブ活動 (3年生見学) 漢字検定	

本校の教育DX

本校では本年度もタブレット活用を中心としたDX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組んでいます。

小学校では、タイピングなどの基礎的な操作はもちろん、思考ツールを使って友達と考えを共有したり、探究したことを表現したりとタブレットは学習に欠かせない存在になっています。また、授業以外でも、委員会活動や部活動などでも日常的にタブレットを活用しており、「Canva」を活かしたポスター作製など、子供たちの活動の幅が広がってきています。

中学校の授業等教育活動で、生徒がタブレット端末を活用する時間は、今年度の渋谷区内トップレベルを維持しています。学習者用デジタル教科書やMicrosoftアプリ、Qubena、ELSA等を活用して、どの教科も生徒の学びが充実できる様に工夫しています。

今年度は、端末の活用により授業スタイルが、より児童生徒を主語にした学びへと変革していっています。児童生徒からも、「一人一人の個性を尊重している。タブレットを使って自分の探究したいものを探究できる。」と教育DXの効果を実感する声があがっています。今後更に、端末活用によって児童生徒の学びの充実と学習意欲向上に取り組んでいきます。

ICT推進主任 教諭 佐藤 賢二 主幹教諭 福守 久子



ALT Message

Welcome, 2025! New year, new approach. With the advent of developing technology, education continues to thrive as schools make use of new learning methods. Last December, the 6th grade students had their English Metaverse Event, where they spoke with different ALTs online. The metaverse featured various settings, such as a supermarket, a tourist information center, and a hamburger shop. The kids surely had fun using the expressions they learned with real-life people! Our school is the first in Japan to use this technology. Could this be the future of English learning?

By Bernadette Feria

ようこそ、2025年!新しい年、新しいアプローチ。テクノロジーの発達に伴い、学校は新しい学習方法を取り入れ、教育はますます発展しています。昨年12月、6年生はオンライン上で様々なALTと会話する英語メタバース・イベントを行いました。メタバースには、スーパーマーケット、観光案内所、ハンバーガーショップなど、様々な場面が登場しました。子供たちは、きっと学んだ表現を実際の人たちに使って楽しんでいただいでしょう!このテクノロジーを導入したのは本校が日本で初めてです。これが、英語学習の未来の形なのでしょうか?



~HONMACHI 交流広場~

この時期の小学生との交流は、大掃除のお手伝いに行くことです。7年生は2年生の教室のお手伝いに行き、5年前にお世話になった教室を昔より丁寧に2年生と一緒に掃除をすることで、以前を思い出したり、自分の今の立場を改めて自覚したりするということにも役立ちました。

学年主任 主任教諭 君田 浩子